

職業能力開発を取り巻く状況

現状と課題

第10次宮城県職業能力開発計画における
基本的方向性と施策の主な内容

1 労働力供給の状況	課題等と対応
(1) 従業者数の推移 ・人口と従業者数はともに減少傾向	◆労働者の減少 基本的方向性1, 2, 3
(2) 生産年齢人口の減少と潜在的労働力 ・女性の高い潜在的労働力	◆女性の雇用促進 基本的方向性2, 3
(3) 雇用者の形態別割合の動向 ・非正規就業者は増加傾向で既に約40%に達する	◆非正規就業者の増加 基本的方向性2
2 経済・産業の状況	課題等と対応
(1) 事業所の数と地域別の増減状況 ・事業所数は減少し特に被災沿岸地域の減少は激しい	◆事業所数の減少 基本的方向性1, 2
(2) ものづくり産業の集積状況 ・自動車関連産業集積の効果が伺える	◆更なる産業集積の推進 基本的方向性2, 3
(3) 企業における教育訓練費の推移 ・リーマンショック以前の状況に回復せず	◆依然低い教育費 基本的方向性1, 2
3 雇用・就業の状況	課題等と対応
(1) 東日本大震災に伴う復興需要 ・全体の有効求人倍率は高いが職業による格差は大きい	◆需給のミスマッチ 基本的方向性1
(2) 若年者の離職率の動向 ・近年の入社3年目までの離職率は約40%と高い	◆高い早期離職率 基本的方向性2, 3, 4
(3) 障害者雇用率の動向 ・改善されているが全国には及ばない状況	◆更なる就職率の向上 基本的方向性3
4 技能の振興の状況	課題等と対応
(1) 若年者の就職の動向 ・若者の人材不足	◆ものづくりの理解不足 基本的方向性2, 3
(2) 技能検定試験受験申請者数の推移 ・全体的に横ばいだが高校生は減少	◆更なる受検の推奨 基本的方向性3, 4

基本的方向性1 東日本大震災からの復旧・復興を担う産業人材の育成**施策1 震災からの復旧・復興に資する人材育成の充実**

- ・公共訓練施設では引き続きものづくり産業の生産現場を支える人材育成に取り組む
- ・業界ニーズに対応するため大崎高等技術専門学校建築科を1年課程から2年課程に移行 等

施策2 労働力需給のミスマッチ解消に向けた職業能力開発の強化

- ・小・中・高・大それぞれの教育段階に応じたキャリア教育の推進
- ・「女性・中高年人材育成助成事業」の実施による雇用促進及び人材確保 等

基本的方向性2 地域産業の振興に向けた職業能力開発**施策1 地域のものづくり産業に資する人材の確保・育成**

- ・キャリア教育推進により個人の意欲と能力に対応したキャリア形成を支援し早期離職の対策とする
- ・企業の認知度向上を図り学生等の県内企業への就職を促進するとともに企業の人材確保を支援 等

施策2 地域におけるニーズを捉えた公的職業訓練等の実施

- ・県立高等技術専門学校や関係機関による多様な能力開発の支援
- ・民間教育訓練機関を活用した委託訓練における新規訓練コースの設定 等

施策3 企業における人材育成の支援

- ・企業のニーズを踏まえた在職者訓練コースを設定し企業の教育負担軽減を図る
- ・「みやぎ優れWAZA連絡会議(仮称)」の立ち上げでものづくり産業全体の技能レベルの向上を図る 他

基本的方向性3 県民一人一人が活躍するための職業能力開発**施策1 若者の職業能力開発**

- ・県立高等技術専門学校等の若者の職業能力開発を支援する関係機関との連携強化
- ・志教育など、産学連携による学校と地域企業が一体となった各世代に応じた「人づくり」の推進

施策2 女性・中高年齢者の職業能力開発

- ・女性に配慮した委託訓練コースの設定と、県立高等技術専門校の設備の環境整備
- ・就業を希望する女性が職業能力を開発するための機会及び情報提供の充実
- ・高齢者の積極的な雇用の促進と、資格取得や経験の蓄積などによる人材育成の実施 等

施策3 障害者の職業能力開発

- ・障害者の求職者に対応した多様な職業訓練の実施
- ・宮城障害者職業能力開発校における精神障害者を対象とした訓練の取組 等

基本的方向性4 技能の振興**施策1 小中高校生や若年者に対する技能尊重機運の醸成**

- ・高校生・教員、大学生、若年求職者を対象にした企業・工場見学会のより一層の推進
- ・関連広報冊子等の発行によるものづくり産業等の魅力発信への取組 等

施策2 熟練技能者の持つ卓越した技術・技能継承の支援

- ・各種競技大会への参加選手等に対する「ものづくりマイスター」の活用等による継続的な技術支援
- ・県立石巻高等技術専門学校木工科における伝統工芸の技能継承に資するためのカリキュラム見直し 等